

茨城キリスト教大学大学院 / 茨城キリスト教大学
茨城キリスト教学園高等学校 / 茨城キリスト教学園中学校
茨城キリスト教大学附属認定こども園(みらい園・せいじ園)

発行日 2022.05.16.MON
編集・発行: 法人事務局学園広報担当

バックナンバーも含めて
学園HPでご覧いただけます →



高校新4号館

竣工



学園の木々に囲まれながら勉強できる
ラーニングエリア



iPadでの授業に併せ、従来
よりも15cm大きい天板。



多目的ホール(仮称)では、
さっそくお昼ご飯を
楽しそうに食べている生徒の姿がありました。



従来の水飲み場を
廃止しウォーター
サーバーを設置。
衛生的かつエコ



コロナ禍の建築と
いうこともあり、
換気設備も完備し
ています。

色(例: 階段の壁)や素材(むき出しのコンクリートや木のような床[※実際はビニール])で“自然”を体現しています。コンクリートの柱などはすべて面取りされており、安全性を保っています。



学園のイチヨウの木々の
移ろいを表した緑の壁面
(階層によって色味が異なっ
ています)



教室は壁一面ホワイトボードに。
思い立った時に自由に書き込みができます。



新校舎全景は
コチラから!

ヴォス校長の探究活動 3月

この高校新4号館は、形が非常にシンプルで、しかしきめ細かい配慮(勉強がしやすい、教員が過ごしやすい)がされている校舎です。

今回の会場である多目的ホール(仮称)に入ると、最上段壁面の“11人の創設者たち”が目に入ります。この絵を見るたびに、学園のこれまでの、これからのビジョンに想いを馳せてほしいです。

中高校長 ランドル.W.ヴォス





全文は
こちらを
チェック!



DANG THI THUY VY

ダンティトウイヴィさん

関彰商事株式会社
(2022年3月～)

留学中は、主に東南アジアの歴史や文化の研究やビジネス事情について学んだヴィさん。新型コロナウイルス感染症の影響により、留学して半年の2020年3月に帰国することを余儀なくされました。しかし、日本での留学を続けたいという想いは消えることはなく、2020年9月に再度日本に渡り、残りの半年分の留学を再開。2021年3月に留学を終え帰国する予定が、またもコロナの影響で、ベトナム行きは飛行機が飛ばず、帰国が困難に。その際、県ベトナム友好協会の協力により、協会と関係のあった関彰商事(株)を就業先として繋いでくれることに。ヴィさんが配属されたのは『総合企画部 事業開発課』。同社のベトナム事務所の支援や海外での新規事業を考える役割を担っています。ヴィさんだからこそそのアンテナの高さをもって海外の情報収集をしてもらったり、既に日本語でのコミュニケーションも堪能なので、他部署との連携を上手に進めてもらったり、国内外へのPRをしてもらうことも期待されています。



本学留学生が県内民間企業に就職しました!

2021年度はコロナ禍でありながらベトナム人学生2名が本学で無事に交換留学を終え、そのどちらも県内民間企業に就職する運びになりました。コロナ禍での苦労と、それらをどう乗り越え、日本で学びを続け、就職活動してきたのか…留学生と就職先企業の皆さんにお話を伺いました。

アニメなどのサブカルチャーをきっかけに日本が大好きになったリンさん。

「日本企業はブラックで厳しい」という噂話だけでキャリアの幅を狭めたくないという想いから留学を決意。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生生活を共に過ごす予定だった約20名の留学生の来日はかなわず、たった一人で留学生生活を送ることに。1年間、マンツーマン体制で授業を受けました。留学期間終了間際、残念ながらコロナの影響で帰りの飛行機は飛ばず…そこで、かねてより交流のあった(株)ユニキャストのインターンに参加する運びに。リンさんの「人と接する仕事で活躍したい」というキャリア観を鑑み、通常インターン生が配属される“ソフトウェア”ではなく“営業アシスタント”というジョブを新設してくれました。インターン生であっても本音本気で接してくれるユニキャストに貢献しようとするよりも仕事に励むリンさんは、今や社内での中心的存在に。“人当たりの良さ、周りの人を巻き込む力”を活かし、今後ベトナム企業との連携事業の中心メンバーとしての活躍を期待されています。

株式会社ユニキャスト
(2022年5月～)

TU THI HONG LINH
トウティホンリンさん



全文は
こちらを
チェック!



みんなのコメントは
学園「つなぐ」
ページにて
公開中!



園のお庭を
花でいっぱい
にしたい!

認定こども園 園児



英会話!! 通勤途中の
カーラジオの講座を
聞きながら、ペラペラ
になることを夢見て

認定こども園教員
滑川由紀



コロナとうまく
付き合いながら、
生徒に英語を
楽しく勉強させる!

中高教員
ラスアライブ・スアハニチャ・ジェシカ



茨キリで
今年度

頑張りたいこと

200人に
聞いてみた!

新年度が始まり、学園内外でさまざまなチャレンジが生まれています。
今回は、学園関係者約200人に新年度の目標や抱負を聞いてみました!

「地域における
学生の活動の
サポート」を
頑張りたいです!

大学教員
目黒 周作



学業と並行して
参加している
「フリーペーパー
茨女」の活動を
頑張りたい!

文学部 郡司千尋



受験に
向けた
基礎を
固める!

高校
金澤 百翔



H TOPICS



学園創設 75 周年、さらなる高みへ！

皆さまのおかげで新学期を無事に迎えることができ感謝です。今年度は4月に高校4号館がオープン、夏には大学新1号館も完成し、新たな環境での学びにチャレンジする年です。留学生の受け入れも再開されました。IC with U(外国にルーツがある子どもへの学習支援)、茨城ロボッツとの連携など…地域と一体となった活動を推し進め、さらに「開かれた学園」として成長していきたいでしょう！
(理事長)

待望の留学生が2年ぶりに来学！

コロナ禍が落ち着きをみせるなか、久しぶりに留学生がやってきました。アジア圏を中心とした13名です。そのうち1人はウクライナからの留学です。後期にはイタリアからも2名来学します。留学生たちは、授業だけでなく、学内外での異文化交流イベントやIC with Uプロジェクトにも積極的に参加してくれる予定です！



3年ぶりの体育祭！

新型コロナウイルス対応のため、2019年以来実施を見送った体育祭。ついに実施に至り、念願が叶いました！特に中学3年生にとっては特別な行事となったのではないのでしょうか。2020年4月に入学、直後に休校措置。その後も続く学校行事の延期・中止措置。中学時代最初で最後の体育祭となりました!!高校では行われない体育祭、人生の中でも特別な一日だったことでしょう。

遠足に行ってきました！

4月18日、高校2年生が遠足でディズニーシーに行ってきました。本来は昨年度中に実施されるはずでしたが、新型コロナの流行により2度も延期…。「3度目の正直」ということで、今回ようやく実施できました！心配していた天気も大崩れすることなく、生徒たちにとって思い出に残る行事になったと思います。



新しい仲間が加わりました！

新たな仲間を加えて、毎日賑やかに過ごしています。入園児にとっては初めての集団生活であり、毎日ドキドキしながらも、園生活の楽しさを感じ始めています。学年が一つ大きくなった進級児は、年下の友だちに優しくし、お兄さんお姉さんぶりを発揮する姿に頼もしさを感じました。園庭で元気いっぱい泳ぐ年長児が作ったこいのぼりのように、笑顔いっぱい、元気いっぱいの一年にしたいと思います。



中高記事ページ



アンケートにご協力ください！

アンケートはこちらから



ご意見・ご感想はもちろん、こんな人・活動を取り上げてほしい!などネタ提供もお待ちしております！

本ニュースレターに関するお問い合わせ先:gakuenkoho@icc.ac.jp
法人事務局 学園広報担当 新妻 幹生
[電話の場合は、0294-52-3215(代)]

編集の一と！



学園広報 にいつまでも 新妻 幹生

こんにちは、学園広報の新妻です。学園ニュースレター『つなぐ』vol.3、発行しました。今回は新緑の季節にふさわしい年度明けの希望や意気込みなどパワーにあふれた記事が中心で、執筆している私も元気をもらえました！

アンケートも活用しながら過去最多の方々にご協力いただきました。ありがとうございます。これからも皆さんと一緒に学園全体を盛り上げていけたら幸いです。さて、3年ぶりに規制がないゴールデンウィーク 皆さんはどのようにお過ごしになりましたか?規制が少しずつ緩和されてくると、可能性や楽しみも広がってきますね。まだまだ油断は禁物ですが、個人としても学園の広報組織としても(今は一人ですが…)“攻め”の姿勢で柔軟にトライしていきたいと思っています。(2022.05.16)

